

# 村田 幸久 准教授

獣医学専攻・獣医薬理学研究室/応用動物科学専攻・放射線動物科学研究室  
寄附講座 食と動物のシステム学研究室

## 研究内容

生命現象を個体レベルで解明し  
“21世紀病の診断・治療”に役立てる

### 脂質

10000



免疫極性の制御

### アレルギー



診断・予防・治療への応用

### がん



## ●アレルギーグループ ●がんグループ

食物アレルギー  
花粉症、アトピー、喘息など

がんの増殖・転移  
抗がん剤耐性

## 食・環境の変化→腸内細菌の乱れ →脂質代謝異常→疾患

### 食の変化・環境化学物質



2000種

1000兆個

500万遺伝子

研究からヒトや動物へ応用！食べて直すを目指す。

## AIによる動物行動解析システムの開発



### 動物の心を読む技術の革新と応用



## 社会実装を目指した動物研究を目指して



## 研究テーマの例

- 食ア診断法開発  
睡眠とアルツハイマー  
の関係解明
- 食ア検査キットの開発  
環境化学物質と食ア
- 鼻炎の診断と治療法
- 痒み誘発物質の探索  
食ア治療法開発
- 食物アと腸管バリアの  
関係解明
- 抗体産生機序の解明と  
抑制方法の開発
- 環境化学物質と食アの  
関係解明
- 痒み痛み  
抑制脂質探索
- 腸内細菌と食アの  
関係
- 成長と食アの関係解明
- 食べて食アを直す技術  
開発
- 腸内細菌の乱れと食ア  
の関係解明と改善法開発
- がん転移抑制法開発  
脂質動態の数理解析  
動物行動解析システム
- 抗癌剤アジュバンド開発  
抗がん剤耐性解除機構
- 行動識別システム
- 個体識別システム
- 行動識別システム  
犬 サル パンダ
- 動物行動解析システム  
鬱 不安 痛み
- 動物行動解析システム